

令和4年度第1回鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議の概要について

令和4年9月12日

社会教育課

- 1 日 時 令和4年8月31日(水)午前10時から午前11時30分まで
2 場 所 オンラインによる開催(本部:鳥取県東部庁舎講堂)
3 出席者 別紙のとおり(委員14名中9名が出席しており会議は成立)

4 会議概要

議事 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の推進に関する建議(案)について

- 令和3年度第1回鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議(令和3年11月19日)で実施を決めたコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に関する教育委員会への建議について協議し、今回の会議で出された意見を反映させた上で教育委員会(教育長)へ建議書の提出を行うことを議決した。

(1)事務局の説明

- ・ 今期の委員任期末(令和4年9月30日)までに、教育委員会に建議を行うための工程とスケジュールを説明。
- ・ 令和3年度第2回鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議(令和4年3月29日)で委員から出された意見の建議(案)への反映状況について説明。

(反映した内容)

- ・ 「県立学校について建議に盛り込み、内容を充実させる」という意見を踏まえて行った、県立学校の学校運営協議会の視察や分科会で検討した内容を追記した。
- ・ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に係る課題や分科会としての提案等について、県立学校に関する検討結果を加味した記述とした。

(2)主な意見

(建議案について)

- ・ これまでの検討結果や各委員から出された意見が適切に反映され、分かりやすい言葉でまとめられている。
- ・ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進のあり方をしっかり示すということではできたとする。
- ・ 小・中学生、高校生の子どもたちを周りが育てていく上で、人格形成の大切さを理解してもらえるような記述があればと思う。
- ・ コミュニティ・スクールで地域の大人が関わっていきこうという考え方があるが、子どもたちも「自分も地域や社会に役に立っている。こういうことができるのだ。」と、地域の中で認めてもらえるという考え方もあるのではないか。そのためには、この建議を受けて、公民館などで行われている世代間交流で、子どもたち、若いお父さんお母さん、高齢者、老人クラブ、婦人会などとの交流がもっと学校・地域が一体になってより活発に行われるようになれば良いと思う。

(感想など)

- ・ 高校に関する内容が加わったことで、大学としての取組や役割も何となく見えてきたかと思う。特に学生などが学校や地域と関わる活動に積極的に関わっていてももらえたら、人材確保など新たな展開になるかと思う。また、県の研修なども、大学の方でも協力して、リカレント教育のような感じで人材育成等に協力できるのではないか。
- ・ 視察を通して、地域、学校・教職員についても、まだまだコミュニティ・スクールと地域学校協働活動に関する理解が不足しているところがあるのではないかと感じた。従って、今後も理解促進を図る研修等を充実する必要があると思う。
- ・ 特に地域学校協働活動では、目指す子ども像や目標・ビジョンの共有化、これが最重要になってくるのではないかと思うので、力を置いて取り組んでいただきたい。
- ・ コミュニティ・スクールや地域学校協働活動が組織化されても、一過性ではなく持続可能な取組がなされなければいけない。

- ・ 視察を通して委員なども高齢化が進んでいると感じた。これから若い世代にどんどん入っていただくことが必要。そのためには、人づくり、これが地域の課題になってくると思う。
- ・ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を有効に機能させるためには、何といても地域コーディネーターの役割が大事だと思う。ここをしっかりと予算化等していただき、全地域にコーディネーターが配置されるように願う。
- ・ 教育委員会による伴走支援はこれからも必要だと思う。
- ・ 高校での地域学校協働活動は無理なのではないかと思っていたが、視察を通して、地域課題や企業の課題に高校生たちが探究学習で関わりを持ち、新たな視点で取り組んでいることを知り、高校についてもコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進が有効ではないかと希望を感じた。
- ・ 地域の皆さんに関わっていただくいろいろな制度については、このような制度があるということの地域への情報発信と、地域の方にももう少し幅広い情報を収集していただいて、活動に携わるメンバーが固定化しないように多くの人材を活用していけば、もう少し活動内容も広がるのではないかと。地域にはたくさんの人材があると思うので、そこを考慮して、高齢化、固定化しないように、次の人材育成についても、尽力してほしい。
- ・ 全体を通して人材育成と伴走支援が重要になってくると思う。持続可能なコミュニティ・スクールには、この2点が今後の課題になっていくのではないかと。
- ・ 建議という形で、これまでの委員活動を残すことができ、本当によかった。

(3) 今後の予定

- ・ 今回の会議の意見を建議に反映させたのち、教育委員会への建議を議決したことについて鳥取県教育審議会運営規程第5条第4項により教育審議会長に報告する。(分科会長一任)
- ・ 9月下旬に分科会長から教育長へ建議書を手交する。